

2020年1月31日

学校法人聖ヶ丘学園
聖ヶ丘教育福祉専門学校
2019年度教育課程編成委員会報告書

学校法人聖ヶ丘学園
聖ヶ丘教育福祉専門学校
教育課程編成委員会委員長
井上 貴 恭

2019年度、教育課程編成委員会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1 委員〈11名〉

横浜国立大学教育学部教授	園田 菜摘
横浜国立大学教育学部准教授	藤井 佳世
認定こども園山王台幼稚園・風の子こども園園長	田野岡由紀子
なかまちっこ じゃんぷ園園長	小川 和代
育和幼稚園副園長	齊藤久美子
うみの風保育園園長	秋山菜穂美
学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校 校長	井上 貴恭
〃	副校長 今村 雅彦
〃	事務長 渡邊 慶信
〃	実習指導部長 蠣崎 尚美
〃	就職指導部長 亀田 良克

陪席者〈3名〉

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校	黒石憲洋 教務部員
〃	齊藤裕美 教務部員
〃	野戸智美 教務部員

2 教育課程編成委員会開催日時

第1回 2019年 9月11日(水) 16時～17時30分

第2回 2019年 10月9日(水) 16時～17時30分

〈開催場所〉 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1階 会議室

3 委員会次第

第1回委員会次第

(1) 学校長挨拶

- (2) 委員紹介
- (3) 平成 30 年度教育課程編成委員会に係る措置状況について
- (4) 質疑応答
- (5) その他

第 2 回委員会次第

- (1) 学校長挨拶
- (2) 委員紹介
- (3) 平成 30 年度教育課程編成委員会に係る措置状況について
- (4) 質疑応答
- (5) その他

4 議事報告

2019 年度教育課程編成委員会改善報告
(別添資料参照)

2019 年度教育課程編成委員会改善報告

2020 年 1 月 31 日
学校法人聖ヶ丘学園
聖ヶ丘教育福祉専門学校
校長 井上 貴恭

【平成 30 年度教育課程編成委員会に係る措置状況について】

項 目	現在の状況報告	委員からの提言	今後の対応措置
① 2019 年度からのカリキュラム改正について	<p>・平成 30 年度の教員養成機関としての再指定および指定保育士養成施設としての変更申請に伴い、今年度入学生から年次進行で新カリキュラムが適用されていく。</p> <p>・担当教員に対しては、カリキュラム改正に係る背景をよく理解した上で協業体制を組んで授業を構築していくよう周知している。</p>	<p>・情報モラル(写真、教材の使用等)について指導できるとよい。著作権を踏まえた教材提供の問題や表現の仕方について、教育の観点から情報機器の活用を授業に取り入れるとよいのではないかな。</p> <p>・情報機器を上手に活用して、保育現場でも事務作業の簡素化・効率化につなげられるとよい。</p> <p>・情報機器の活用を取り入れた授業構成については、各教員の意見聴取をするのはどうか。あるいは、「現代的な教育課題」といった科目を設定してみてもどうか。時代の中で必要とされるものは変化してくるため、内容は逐次入れ替えられるような科目とすればよい。今は、SNSをはじめとするメディアとの関わり方が重要で、情報を取捨選択して発信できる能力を養う</p>	<p>・「保育内容指導法」および 5 領域の各科目、「情報機器の操作」等の科目担当者と協議しながら、ICT の活用を含む授業構成を検討していく。</p>

		必要性がある。インスタグラムの使用法についてもどんな表現ができるかを考える。自分にも繋がることを授業でも学べると、学生も楽しんで学べるのではないか。	
② 授業力向上への施策	<ul style="list-style-type: none">・前年度に教育課程編成委員会の提言を反映させる形で、授業評価アンケートの体裁を変更した。・この授業評価アンケートを実施した結果を踏まえて、本校においてもFD活動を実施することを検討している。	<ul style="list-style-type: none">・授業評価アンケートの振り返り用紙の中に、「相談したいことコーナー」を設けて、「〇〇先生に～（授業方法や内容等）について相談したい」と文面に入れるのはどうか。学生からの評価も重要だが、授業内容向上のために、同じ職場の人に助言を求められ、課題解決を図れたらよいのではないか。すなわち、同僚間の相談を促進していく取り組みがあるとよい。非常勤講師は特に専任教員の授業内容を知りたいのではないか。・授業公開期間（週間）を設けている大学もある。他の教員の授業を見た後に評価・振り返りを行うのはどうか。	<ul style="list-style-type: none">・授業公開期間を設け、非常勤講師も含めた教員間の相互評価を促進し、授業力向上を図る企画を検討していく。
③ 企業との連携について	<ul style="list-style-type: none">・本校独自の科目である「教育・保育実施研究」「保育実地研究」は同一法人の系列施設である幼稚園・保育所との連携で行っている。	<ul style="list-style-type: none">・横浜市中区や鶴見区の保育所では、「ウェルカム保育園」という企画があり、他園に行くことで公立や認可外との違いが見える等、様々な気づきを	<ul style="list-style-type: none">・今後、養成校同士の意見交換なども視野に入れつつ、学外実習の単位・内容が学生にとってより良くなるよう実習担当教員と検討していく。

	<p>・ 広く業界団体（幼稚園協会や保育園連盟）を見渡した上での効果的な実習の在り方や評価の仕方について検討を行っている。</p>	<p>得た。さらに他園の見学を受け入れることで職員の意識改革があり、保育の質の向上に繋がった。そのため、保育士・幼稚園教諭の養成校同士で見学会を行うことも考慮していくのはどうか。</p> <p>・ 横浜国立大学は教育実習が従来 1 ヶ月であったが、インターンシップを教育実習に充てることができ、週 2 回のインターンシップをまとめて実習扱いできるようになった。今後は学生の負担を考えて実習形態も変更していく可能性があるため検討されたい。</p>	
④ その他	<p>・ ICT 機器の操作に関しては一般教養科目である「情報機器の操作」において、特にプレゼンテーション・ソフトを扱うことを検討中である。</p> <p>・ 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」については、これまで Beyer や Burgmüller を扱ってきたが、より保育に即した内容について検討している。</p>		<p>・ 課題について引き続き、検討していく。</p>